



希望の鐘 *The Bell of Hope*

The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町 7-16

tel:049-226-2491 fax:049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan



川越ワイズメンズクラブ会報

No. 26-05

11月号

発行 2023年11月16日

Chartered 1998

会長 山本 剛史郎

クラブ会長主題「温故知人」スローガン「明日に向かって新しい出会いを！」

副会長 松川 厚子

国際会長 Ulrik Lauridsen 氏(デンマーク)

会計 吉田 公代

主題 "Let Your Light Shine"

書記 吉野 勝三郎

(輝かそう、あなたの光を)

アジア太平洋地域会長 利根川 恵子(川越)

主題 "Be the light for change"

(変革のために光となろう)

東日本区理事 山田 公平(宇都宮)

主題「未来のために今、学びと気づきを！ 未来のために、自信を育み、真の喜びに出会おう！」

関東東部部長 長尾 昌男(千葉ウエスト)

主題「YMCAとY's協働で、目指そう地域に繋がる奉仕を！」

11月の聖句

「いと高き所には栄光、神にあれ
地には平和、御心に適う人にあれ。」
ルカによる福音書 2章 14節

"Glory to God in the highest, And on earth peace,
goodwill toward men!"

である。ましてや今回の出来事はパレスチナ側のハマスのテロ攻撃によって先に戦争を仕掛けてきた。一方においてパレスチナ側から見れば、イギリスによる3枚舌外交によって、それまで長く定住してきたパレスチナの地を奪われ、天井のない監獄といわれる場所に追いやられ、さらには経済的な圧迫を長年受け、苦しめられている。軍事的にはパレスチナ側が圧倒的に不利な状況で、実際にミサイルにしても地上戦にしても徹底的にやられており、多くの死者を出しているのはパレスチナ側である。お互いがそれぞれ言い分を持っており、どうにもならない状況が続いているが、早く平和が戻ってきてほしいと願う。

今、世界YMCAの呼びかけで、日本YMCA同盟もパレスチナ緊急支援募金を行っている。「いと高き所には栄光、神にあれ。地には平和、御心に適う人にあれ。」そう願うばかりである。

11月統計

出席者 8名 出席率 89%

巻頭言

「地上の平和」

川越ワイズメンズクラブ会長 山本剛史郎

イスラエルとパレスチナとの戦争が止まらず、多くの人々が傷つき、死んでいくニュースを聞いて、本当に心が痛む。イスラエル(ユダヤ人)側から見れば、ローマ帝国によって国を追われて以来、2000年の間悲願であった国を建国し、それを守るということが重要

11月例会報告

吉野 勝三郎

11月の例会は、恒例の埼玉YMCAチャリティーランへの参加でした。今回は11月3日(金・休日)に24回でした。来年は4半世紀の25回を迎えます。

当日は、川越クラブのメンバーの大半は、香港で開催された第30回アジア太平洋地域大会参加のため、川越クラブからは、私(メネットも)と河合今日子さんだ

けの参加となりましたが、天気にも恵まれ、更には、当選間もない所沢市長の小野塚勝俊さんが開会式で挨拶され、スタートの合図も買って出て下さいました。小野塚市長は、所沢ワイズメンクラブのメンバーで、私も何度かお会いしたことがあります。

閉会式には、元文部科学大臣 柴山 昌彦氏も駆けつけてくれました。

詳細は、YMCA報告をご覧ください。

第30回アジア太平洋地域大会（香港）

山本 剛史郎

2023年11月3日から5日、香港にて、ワイズメンズクラブ国際協会 第30回アジア太平洋地域大会が開催されました。4年振りのリアルでの地域大会で、約360名の参加者が懇親を深めました。今回は利根川恵子さんがアジア太平洋地域会長ということもあり、川越ワイズメンズクラブからは利根川太郎さん、吉田公代さん、生川美樹さん、そして山本剛史郎の5名が参加し、さらに利根川恵子さんの妹ご夫妻（新井壽代さん・賢二さん）も参加して下さいました。

大会1日目は17:30から始まるために、16:00にホテルからバスに乗り込み会場へ向かいましたが、案内が会場を間違えて私たちを別の場所で降ろしてしまうというハプニングがありバタバタではありましたが、無事に開会となりました。バナーセレモニーに始まり、ワイズソングと続く開会式でした。ちょっと違和感を覚えたのは中国国歌斉唱の時があったことでした。それはともかく、晩餐会は中国獅子舞、カンフー、変面（Bian Lian）といったパフォーマンスも楽しく、とにかくコロナ明けの大会として大変に盛り上がりました。

大会2日目はエクスカースションで3コースに分かれての小旅行でしたが、私はAコース、ランタオ島ツアーに参加しました。最初は大澳（タイオー）という漁村に行き、昔ながらの生活の雰囲気が残る場所を訪れ、お菓子作りをし、昼食を取りました。その後、天壇大仏を見学してホテルに戻りました。天壇大仏は高さ34mと大きいのだが、その大仏そのものが268段ある階段の上にある高台に建てられているため、かなり大きく見えました。そうして大会2日目の晩餐会となりました。2日目の晩餐会はカルチャーナイトのため、私は和服で参加しました。また、この日はそれぞれの区ごとに出し物があり、東日本区は東京江東クラブの鈴木さんの獅子舞、そして全員で歌をうたいました。西日本区は相撲のパロディーでお笑いをとっていく方向性はさすがに西日本区だと感心しました。この日の

最後はYMCAをみんなで踊るなどにぎやかに過ぎていきました。

大会3日目は場所を香港中華YMCA九龍センターに移して礼拝、そして体育館でプログラムを行いました。特に今年の夏にネパールで行われたAYC（地域ユースコンボケーション）の発表、またIBC（国際兄弟クラブ）の締結式があり、川越クラブも所沢クラブと共にフィリピンのパンガシナンクラブとのIBC締結式を行いました。最後は次回、2025年に熊本で行うアジア太平洋地域大会のアピール、そして閉会式が行われ、楽しかった3日間が終了しました。

他にもいろいろとありますが、できれば報告会を行いたいと思います。



アジア太平洋地域会長と次期アジア太平洋地域会長



会場の様子

国際の舞台から

“Keiko’s Monthly Briefing of YMI/ASP”

国際議員・アジア太平洋地域会長 利根川恵子

去る11月3日（金）から5日（土）、香港で第30回アジア太平洋地域大会が開催され、すでに7月1日以来、アジア太平洋地域会長の職についていたのですが、大会の席上、会員の前で正式な就任式を執り行っていました。司式は次期国際会長・チャーミング・シェンさんで、次期アジア太平洋地域会長のジョーン・ウォンさんとともに、重責を担う決意表明をさせていただきました。（写真1）

大会には、川越クラブから、山本剛史郎会長、吉田

公代ワイズ、生川美樹ワイズがご参加くださり、後押しをしていただきました。さらに式に立ち会ってくれた夫・利根川太郎に加えて妹夫婦（新井壽代・賢二夫妻）も会場で見守っていてくれて、心に残る大会となりました。“写真2”は、2日目のバンケットがカルチャーナイトで、できるだけ民族衣装をとすることを提唱している立場から、私は妹の協力を得て、母の形見の紬の付下げを着たところです。山本会長の定評ある和装に負けず劣らず（？）とはいきませんが、奮闘しました。重ね重ね妹に感謝です。（写真2）

今大会は、コロナ禍で今まで対面の集会ができなかったため、4年ぶりにアジア太平洋地域の会員や関係者が直接会う機会となりました。海外から185名、香港から175名で合計360名の参加でした。東日本区からは52名、西日本区は31名で日本の参加者は83名にのぼりました。感謝にたえません。また、アジア太平洋地域ばかりでなく、韓国、インド、アフリカ（ケニア）、アメリカ地域からもご参加いただき、国際色豊かな大会となりました。

もう一つ大事なプログラムは、パンガシナン・ワイズメンズクラブと、所沢・川越クラブのトライアングルIBC締結式です。同時に、仙台青葉城クラブとルンビニ・クラブ（ネパール）のIBC締結式も行われ、大会の成功に華を添えました。今後、所沢クラブ、パンガシナンクラブと協働事業の検討が重要となります。みなさまの知恵とマンパワーで国際親善、国際貢献が進むことを期待いたします。（写真3）

さらに、みなさまにお伝えしたいことは、川越クラブが25年前に設立され、チャーターナイトを行った際に、当時のアジア会長として来川してくださったChou Wing Pingさん（香港クラブ）がご健在で、大会3日間を通してご出席でした。川越クラブが25周年を迎えることをお伝えしたところ、ぜひ再訪したいとおっしゃってくださいました。92歳には思えないお元気さで、川越での再会が叶うことを祈ります。（写真4）

その他の大会のプログラムとしては、アジア太平洋地域書記、同会計、同事業主任の任命、地域レポート、YMI報告、AYC報告、エクスカースションなどがありました。

次のアジア太平洋地域大会は、2025年8月、熊本で開催されます。AYCも同時に行われます。北九州クラブとのDBC交流、パンガシナンクラブとのIBC交流ができることを願って、今から楽しみに待とうと思います。



就任式(写真1)



川越クラブの応援団 カルチャーナイトにて(写真2)



IBC締結式(写真3)



元アジア会長 Chou Wing Pingさんと（写真4）

YMCA報告

街頭募金

川越センターでは、11月3日のチャリティーランに向けて、4日間にわたり街頭募金行いました。

「がんばってね」と声を掛けてくれた方

「YMCA だー！」と手を振ってくれた方

「今お金ないから待ってて」と言って、お財布を持って戻ってきてくれた方

また、チラシをお渡ししようとする

「昨日、貰ってるから大丈夫」と連日募金に来てくれた方など多くの方々にご支援いただきました。

特に YMCA プログラム会員の皆さま、リーダー、

OGOB、YMCA 関係者の方など一人ひとりが印象的でした。



今回の募金活動を通じて、YMCA の働きをひとりでも多く地域の皆さまに知っていただけたら嬉しく思います。

そして、地域の方とのつながりを大切に、皆さまのお気持ちに応えられる働きをしていけるよう努めてまいります。

最後に、街頭募金に協力してくれた皆さまがこのことを覚え想いを寄せてくださったことに感謝申し上げます（木下遙七）。

チャリティーラン

【第 24 回埼玉 YMCA チャリティーラン】

11 月 3 日晴天の中、第 24 回埼玉 YMCA チャリティーランが開催されました。

今年も川越ワイズメンズクラブの皆さまにたくさんの協賛品を提供していただきあらためて感謝申し上げます。



皆さまから寄せられた支援金 753,671 円は、障がいのある子どもたちへのプログラム、災害等で困っている人たちへの支援に役立てられます。ご協力ありがとうございました。



埼玉 YMCA フェスティバルを開催します

11 月 23 日(木・祝)10 時~15 時半まで所沢センターにて、埼玉 YMCA フェスティバル・会員大会を開催します。川越センターでは、以前好評だった「川越おめん製作所」を出店します。ご家族、お知り合いをお誘いの上、ぜひお越しください。

なお、フェスティバルの収益金は、ボランティアリーダー育成や地域貢献活動に使用させていただきます。

(編集後記)

香港での大会が成功裡に開催されたことを知り、心からお祝い申し上げます。利根川恵子メンの働きが、アジア・太平洋地域だけでなく、世界のワイズ・YMCA 活動の進展に寄与することを確認し、今後も川越クラブとして可能な支援を行いましょう。

今月は、埼玉 YMCA では、チャリティーランに続き、23 日に YMCA フェスティバル・会員大会が対面形式で開催されます。川越クラブは古書再読、高齢者疑似体験、コーヒー販売、芋菓子販売を行う予定です。ぜひ皆で参加して会を盛り上げるとともに、今期の会長主題の“温故知人”で新しい人との出会いに期待しましょう。(KY)